2015/7/18　北陸中日新聞

北陸経済

濃淡のいとおか し

新タイプ加工糸「ゆらぎ」を使った生地の見本

糸加工などの山越（石川県かほく市）は、合成繊維機械の世界大手であるTMTマシナリー（大阪市）と共同開発した機械を使って新タイプの加工糸の製品化に成功した。従来の約3分の1の工程で糸に色の濃淡をつけられるのが特徴で、表情のある糸をより低価格で提供可能になる。「世界に例のない技術」（山越）として特許出願済みで、来夏から本格生産して売り込む。（網信明）

山越が開発、来夏販売へ

工程3分の1 低価格に

新しい加工糸は「エンジェロンゆらぎ」で、山中友希社長が長年にわたり温めてきた構想が基になった。

山中社長は一九九七年に山越を起業する直前まで、機械メーカーの村田機械（京都市）に勤務。村田機械は東レのグループ企業などとともにTMTに出資している。数年前に〝古巣〟のつてを頼りにTMTに共同開発を持ち掛け、協力を取り付けた。

山越は、これに合わせて開発部や生産部、営業部などの二十～三十代の若手社員による特命チーム「能登七人の侍」を結成。TMT側と協議を重ね、昨秋には試作機が完成した。今年に入ってからは「ゆらぎ」の試験生産と、それを使った生地サンプルも用意。取引先への営業活動を始めた。

一本の加工糸に濃淡をつける場合は通常、性質が違う素材をより合わせる必要があり、手間がかかっていた。「ゆらぎ」は、同一素材を使うことにより一つの工程だけで生産可能に。生産コストもこれまでの方法に比べて四割ほど安く提供できるようになる見通し。

スポーツ衣料やファッション衣料、肌着、自動車用シートの関連業界を中心に「おもしろいね」と関心は高いという。生産現場では現在、機械の最終調整や生産技術の安定化といった詰めの作業を進めており、早ければ来年七月には本格生産に移行できる予定。

山中社長は「新たな主力製品になる可能性を秘めた糸。本格生産後はかなりの受注を期待できるだろう」と話し、五年後に年間約四億円の売り上げを目指す。

決算を受け急騰銘柄も

今週の株式市場は、先週のギリシャの債務問題や中国の株価の大幅な値下がりから、力強く株価が反発する展開となった。日経平均株価は5日連騰となり、週間で約871円の値上がりとなった。14日にはユーロ圏首脳会議での長時間の調整後、EUはギリシャの支援を再開することに合意したこと、さらには中国の株式も先週末を底にして値を戻す展開に変わったことなどが、今週の株価上昇の要因であった。来週も、今週の流れを引き継ぎ、堅調な動きとなることが予想される。来週からは、国内企業の4～6月期の決算発表が本格化し、好決算を発表した銘柄の中には急騰するものも出てくると思われる。（しん証券さかもと）

市場を診る

6商議所が北陸・関西会議

新幹線の早期延伸へ連携

金沢、富山、福井、京都、神戸、大阪の六商工会議所は、北陸と関西とが連携して事業活動していくため、国内観光客誘致への相互プロモーションを実施する。必要に応じ、JR西日本の「関西・北陸交流会」会頭が出席して開く。専務理事レベルの会合も開催し、必要事項を決める。事務局は大阪商議所に置く。

インドネシアへ インテック初進出

現地システム社と提携

情報システムのインテック（富山市）は、インドネシアの同業「ビズニスインテグラシ グローバル」（ジャカルタ）と業務提携し同国でのサービス提供を始めた。

インテックは東南アジア市場を重視しており、日系企業が多く高い成長が期待できるインドネシアに進出することで、日本の顧客企業の現地進出を支援する。

提携により両社は、企業間の受発注、出荷、請求、支払いなどのデータ交換サービスを提供するインテックのサービス「EINS/EDI-Hub Nex」などを現地企業、日系企業向けに販売する。二〇年までの売上高目標は十億円。（曽布川剛）

石川商工中金会「一層元気UPを」

小田会長あいさつ

商工中金金沢支店の取引先でつくる石川商工中金会は、金沢市のホテル日航金沢で約百五十人が出席して開かれた。懇親パーティで小田禎彦会長（加賀屋相談役）は「北陸新幹線で盛り上がっているが、もう一段上がっているが、もう一段元気と活力をつけていただきたい」と述べた。（山本義之）

関節リウマチ治療 日医工、後発医薬品

今秋にも申請へ

日医工（富山市）は、関節リウマチ患者向けバイオ医薬品「インフリキシマブ（遺伝子組み換え）」の後続品製造販売承認を今秋にも厚生労働省に申請すると発表した。承認前の最終段階となる臨床試験で先発バイオ医薬品と同等の効果や安全性が確認できたためとしている。

企業向けなどユニホーム企画製造のヤギコーポレーション（金沢市）は十七日、同社で今秋から来春に向けた女性用の新作発表会を開き、デザインと着心地の良さを両立させた約五十種類を石川県内などの販売代理店担当者に提案した。

主力ブランド「ユニレディ」の今回のテーマは「ザ・ビューティー・ルックス」。ここ数年は見た目の美しさに加え、動きやすさといった機能性に対するニーズも高まっている。表地のほか裏地にも伸縮性がある素材を採用し、美しいシルエットに仕上がる「片側五面体」と呼ばれる立体的な縫製を施した商品をさらに充実させた。女性らしさと上品さを感じさせる商品が目立ち、来場者の関心を引いていた。（網信明）

見た目の良さと着心地をより高めた今秋から来春向け制服の発表会＝金沢市のヤギコーポレーションで

洗練 秋冬の制服 金沢で発表会

新作＋前線

新ジャパンの勝負服発売

スポーツ衣料製造のゴールドウイン（本店・富山県小矢部市）グループのカンタベリーオブニュージーランドジャパンは、ラグビー日本代表用の新ジャージー＝写真＝を制作し、レプリカモデルを17日から直営ショップや公式ウェブストアで発売した。

新ジャージーは日本代表のスピード感を紅白のしま模様で表現。4種類の素材を使って動きやすくし、通気性も1割改善した。8月15日の世界選抜戦から着用する。レプリカモデルは実物に近いジャージータイプで税抜き9800円、シャツタイプで同6500円。

6月の販売電力量 前年実績を下回る

北電、2カ月連続

北陸電力（富山市）が十七日発表した六月の販売電力量は、前年同月比0・5%減の二十一億七百万㌔時で、二カ月連続で前年実績を下回った。

一般家庭向けなど電灯は2・3%減の四億九千六百万㌔時、業務用も3・3%減の四億㌔時。産業用その他は、大口電力で主力の機械などが前年を上回ったことにより1・8%増の十一億二千七百万㌔時だった。（網信明）

中国生産推進本部 津田駒が廃止へ

繊維機械メーカーの津田駒工業（金沢市）は二十一日付で中国生産推進本部を廃止する。中国での繊維機械生産体制が強化、整備されたため。

高納伸宏社長の同本部長兼務を解き、竹鼻達夫専務、松任宏幸取締役、山田茂生執行役員の同副本部長兼務を解く。松任氏は津田駒機械製造（常熟）有限公司の董事長に就任する。

[紙面構成・安田文彦]

商議所情報

【金沢】22日後1・30 専門家定例相談・法律
【七尾】23日後1 消費税転嫁対策窓口相談
【小松】23日後1 南加賀法律相談
【白山】21日前10 金融なんでも相談▽同後1 無料法律相談
【石川県商工会連合会】22日前10 IT相談窓口▽24日前10 IT移動相談窓口（山中温泉文化会館）

名古屋金属卸相場　17日

（単位＝㌧・円）

異形棒鋼(19㍉)	53000
等辺山形鋼(6×50×50㍉)	80000
H形鋼(5.5×8×200×100㍉)	80000
厚板(12㍉×1,515×3,030㌔)	85000
薄板(熱延1.6㍉)	85000
鉄くず(H2)	21420
電気銅(99.96%)	730000
電気亜鉛(99.99%)	304000
電気鉛(99.99%)	280000
スズ(99.99%)	2010000
アルミ新塊(99.7%)	260000

経済短信

◆広貫堂がHPを一新　配置薬製造販売などの広貫堂（富山市）はホームページ（HP）を一新。トップページを就職活動中の学生や取

類に分け、目的のページにアクセスしやすいよう工夫した。消費者向けは、主要製品を「広貫堂のある暮らし」という切り口でPRし、製

した。企業向けでは創業139年の沿革を読み物風にまとめた。パソコンやスマートフォンなどHPを閲覧する機器ごとに最適な画面サ

会場への送迎を販売してい白3日。朗読した白山麓僻

で。翌1日午後に祭り会場まで送迎、同日深夜に戻る。スタンダードツイン2人利用で1人税込み2万8680円。予約はホテル＝電076